

●文芸(海外文学) ご担当者さま

3月下旬出来予定

# ★刊行即重版決定★

科学の常識を塗り替えた学者たちの  
奇妙な人生、前代未聞の〈科学小説〉!  
(ちょっとイっちゃてる?)

## 恐るべき緑



ベンハミン・ラバトゥツ 著／松本健二 訳

「プルシアン・ブルー」第二次世界大戦末期、ナチの高官らが所持した青酸カリと、西欧近代における青色顔料をめぐる歴史、第一次世界大戦の塹壕戦で用いられた毒ガス兵器の開発者フリッツ・ハーバーの物語。

「シュヴァルツシルトの特異点」科学史上初めてブラックホールの存在を示唆した天文学者シュヴァルツシルトの知られざる人生。

「核心中の核心」不世出の数学者グロタンディークの数奇な生涯と、日本人数学者、望月新一の人生の交錯を空想する。

「私たちが世界を理解しなくなったとき」黎明期の量子力学の発展に寄与した三人の理論物理学者、ハイゼンベルク、ド・ブローイ、シュレーディンガーと、それぞれに訪れた発見／啓示の瞬間。



9784560090909

| 貴店印 | 注文数 | ISBN978-4-  | 書名                                     | 本体価格    |
|-----|-----|-------------|--|---------|
| ご担当 | 様   | 560-09090-9 | 《エクス・リブリス》<br>恐るべき緑<br><br>【ポップお付けします】 | 2,500 円 |

(株)白水社 営業部 TEL 03-3291-7811

FAX 03-3291-8448 (備考 2-19)